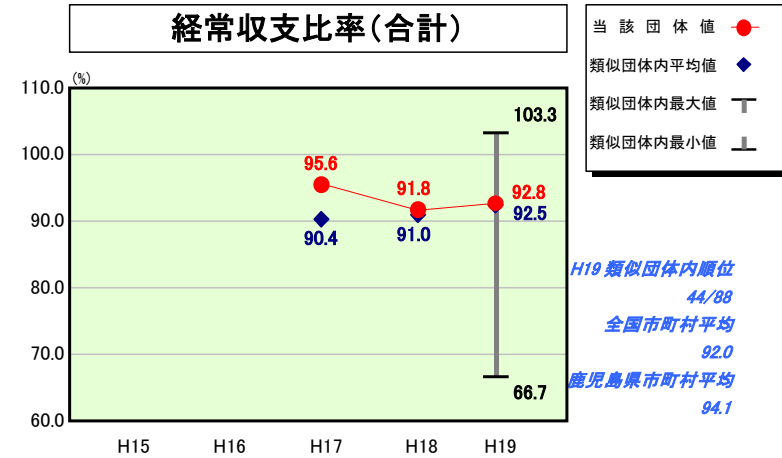


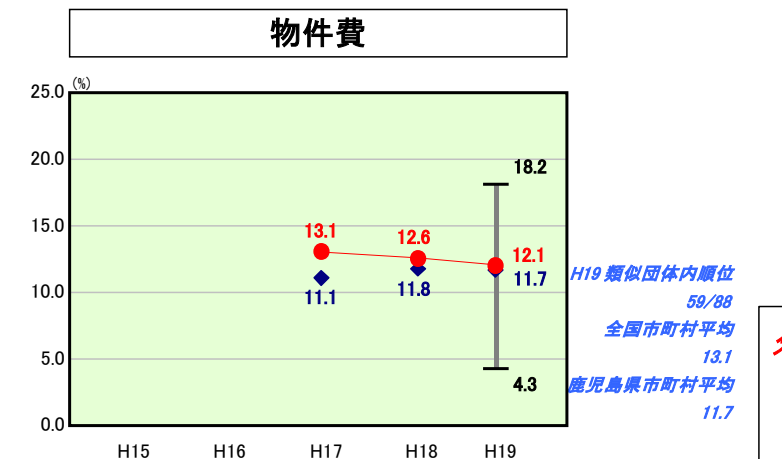
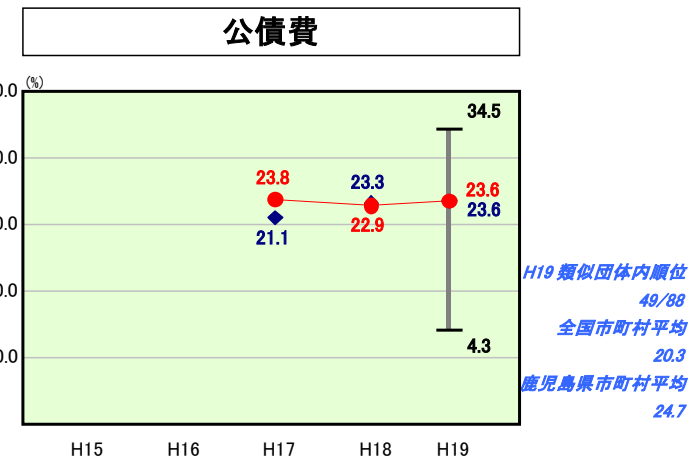
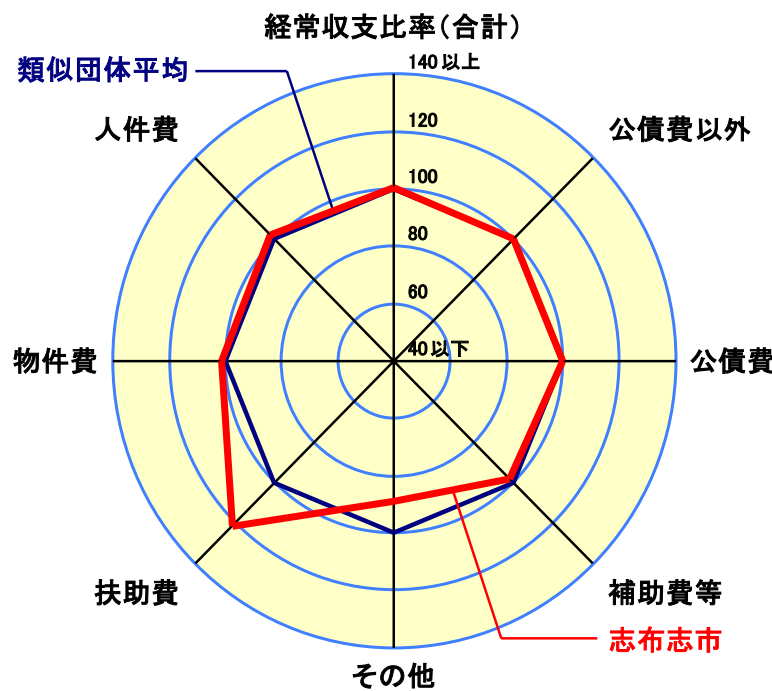
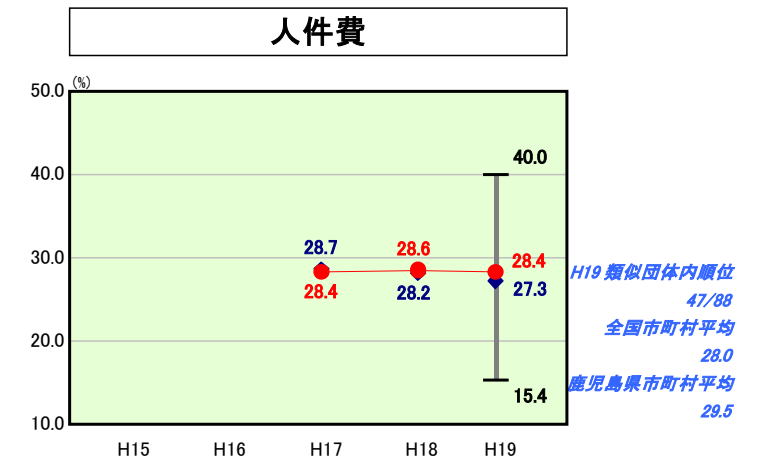
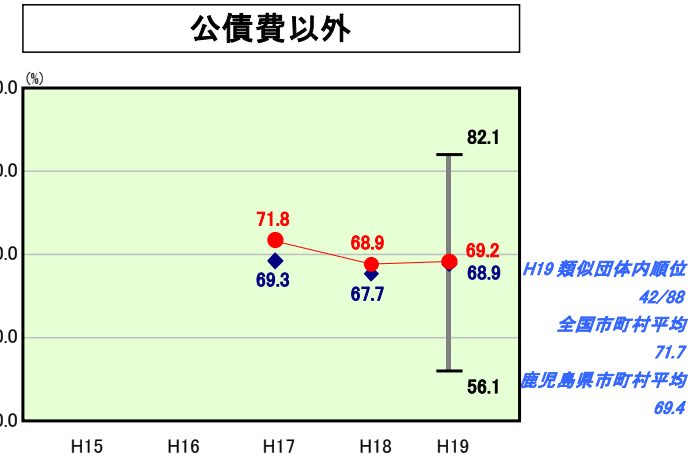
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鹿児島県 志布志市

経常収支比率の分析



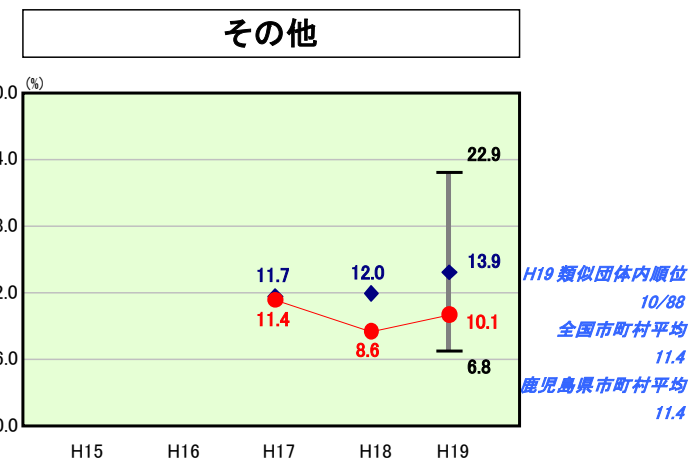
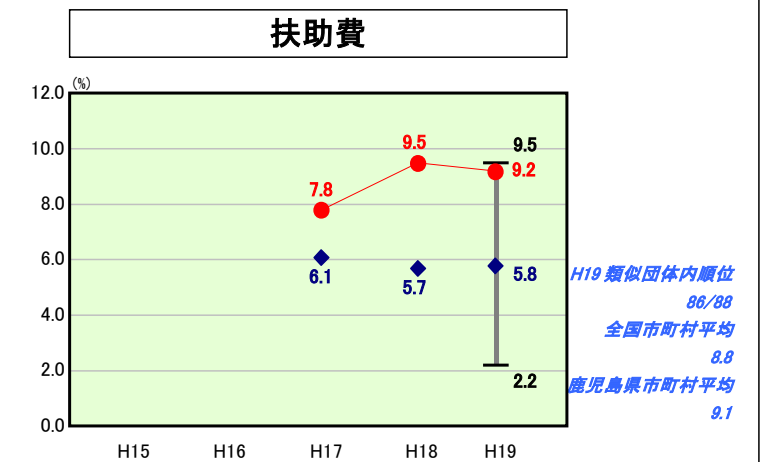
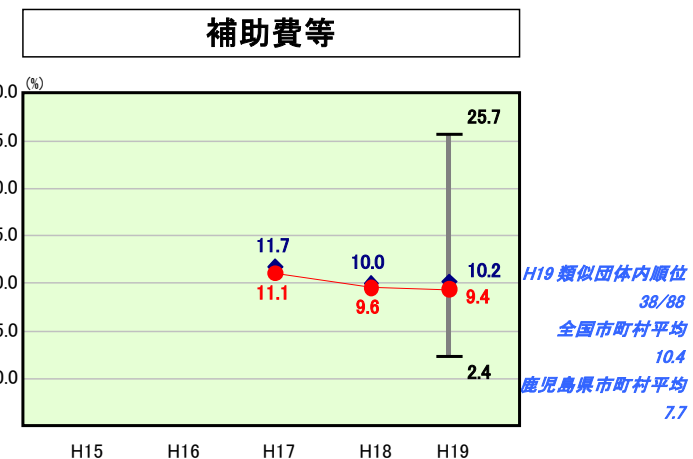
人口	34,756人(H20.3.31現在)
面積	289.93 km ²
歳入総額	18,333,033千円
歳出総額	17,967,796千円
実質収支	359,236千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

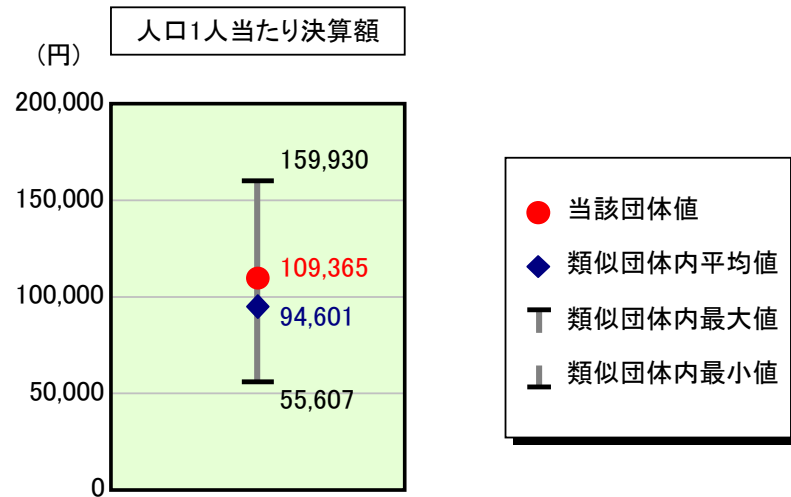
- 人件費: 職員数の減少等により年々減少しているものの類似団体平均を上回っている。類似団体と比較して職員数が多いことが要因として考えられるが、定員適正化計画に基づく定員管理に努め、各種手当の見直し等に取り組み、類似団体平均水準となるよう人件費の抑制を図る。
- 物件費: 対前年度比10%削減の実施により年々減少しているものの類似団体平均を上回っている。今後も事務事業の整理合理化等により継続して歳出抑制とコスト削減を図り、類似団体平均水準となるよう努める。
- 扶助費: 前年度より減少しているものの類似団体平均を大幅に上回っている。医療費の増加や保育所民間移管に伴う運営費の増加、類似団体と比較して生活保護費の割合が大きいことが主な要因となっている。事務事業評価を踏まえ、事業を精査し、資格等の適正化を図り、扶助費全体の抑制に努める。
- 補助費等: 類似団体平均を上回っている要因として、一部事務組合への負担金が類似団体と比較して多いことがあげられる。今後、市単独事業補助金等につきましては、集中改革プランに基づき、行政効果等の精査及び交付目的の明確化等を図り整理合理化を推進し、類似団体平均水準となるよう努める。
- 公債費: 前年度は類似団体平均を上回っていたが、類似団体水準となった。公的資金補償金免除繰上償還及び普通建設事業費の抑制等により、地方債残高の削減を図り、財政の健全化を図る。
- 普通建設費業費: 国営かんがい排水事業償還及び県民体育大会開催に伴う施設整備等により類似団体平均を上回っている。国営かんがい排水事業償還は21年度までであり来年度以降も増加する見込みである。今後、振興計画等に基づき、事務事業評価等を踏まえ、普通建設事業費の抑制に努める。



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鹿児島県 志布志市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

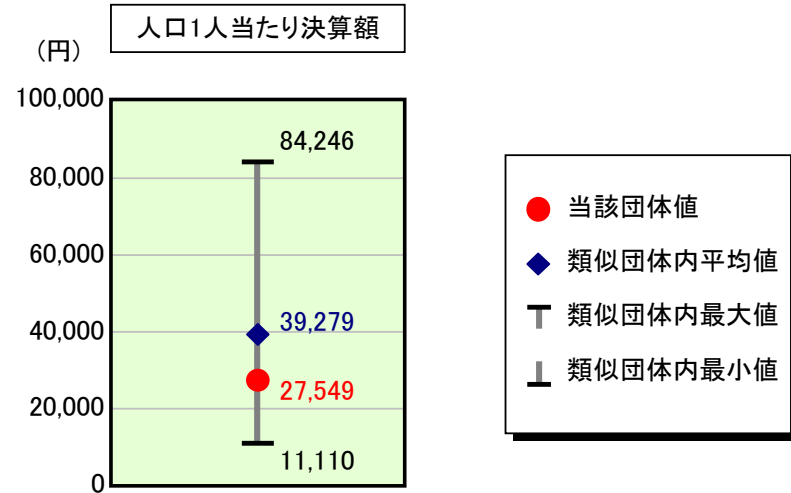
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	3,306,781	95,143	87,999	8.1
賃金(物件費)	298,463	8,587	4,997	71.8
一部事務組合負担金(補助費等)	470,264	13,530	6,737	100.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,224	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	66,799	1,922	3,103	▲ 38.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	88,468	2,545	1,966	29.5
▲退職金	▲ 429,694	▲ 12,363	▲ 11,425	8.2
合計	3,801,081	109,365	94,601	15.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.47	9.89	0.58
ラスパイレース指数	95.1	95.2	▲ 0.1

ラスパイレース指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

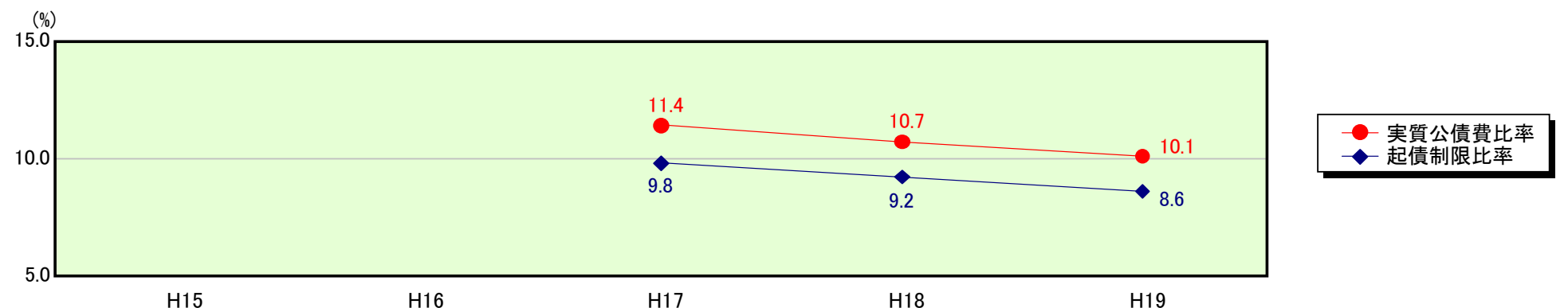


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	2,560,282	73,664	63,164	16.6
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	22	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	255,029	7,338	19,567	▲ 62.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	25,212	725	5,291	▲ 86.3
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	33,880	975	2,357	▲ 58.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	1,300	37	22	68.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,918,217	▲ 55,191	▲ 51,144	7.9
合計	957,486	27,549	39,279	▲ 29.9

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

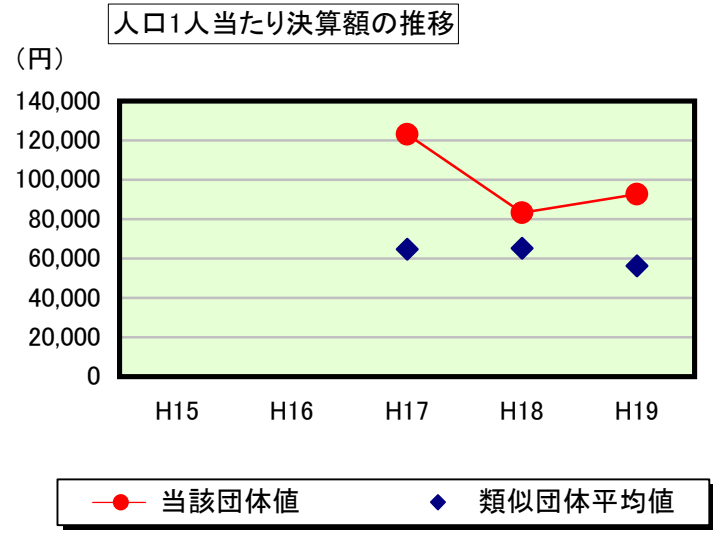
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鹿児島県 志布志市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	4,366,612	123,062	-	64,690	-	-
うち単独分	2,697,178	76,013	-	39,427	-	-
H18	2,920,090	83,303	▲ 32.3	65,235	0.8	▲ 33.1
うち単独分	1,746,060	49,811	▲ 34.5	35,265	▲ 10.6	▲ 23.9
H19	3,221,802	92,698	11.3	56,233	▲ 13.8	25.1
うち単独分	1,671,494	48,092	▲ 3.5	32,240	▲ 8.6	5.1
過去5年間平均	3,502,835	99,688	▲ 10.5	62,053	▲ 6.5	▲ 4.0
うち単独分	2,038,244	57,972	▲ 19.0	35,644	▲ 9.6	▲ 9.4